

FFJ検定ガイドライン

平成27年3月

日本学校農業クラブ連盟

1 FFJ検定の目的

「FFJ検定」は、農業学習や学校農業クラブ（以下、農業クラブ）活動で培ってきた自分の力が、「科学性、社会性、指導性」という3大目標に対して、どの程度まで到達したかを確認するためのものです。

毎日の努力の積み重ねを一定の基準で、客観的に評価することを成果とするのがそのねらいです。

2 実施機関

初級・中級：単位クラブ

上級：都道府県連盟

特級：日本学校農業クラブ連盟

3 実施時期の目安

初級…… 1学年の3学期

中級…… 2学年の2～3学期

上級…… 3学年の1学期

特級…… 3学年の10月初旬

4 褒賞

級位証（賞状）、級位章（バッジ）

5 FFJ検定ガイドライン [初級、中級、上級、特級] について以下に示す。

FFJ検定ガイドライン〔初級〕

平成27年3月

検 定 基 準				評 価 項 目 例	実 施 例	配 点	小 計
科学性	専門学科	入門的プロジェクト	○科学性は入門的プロジェクトの理解、習得状況をもって検定する。	入門的プロジェクト(ステップ1, 2) *	PDCAサイクルの構造を理解し、課題設定できたか。	1p	3p
				入門的プロジェクト(ステップ3, 4) *	PDCAサイクルに沿ったプロジェクトを計画し、実践したか。	1p	
				入門的プロジェクト(ステップ5, 6) *	プロジェクトの結果をまとめ、反省評価し、さらに発展させたか。	1p	
		専門知識	○各校での学習成果をもって検定する。	専門学習の基礎的知識	1年生で習得すべき農業科目の知識・技術が学校が求める基準に達しているか。	3p	3p
	総合学科等	産業社会と人間、入門的プロジェクト	○科学性は社会人基礎としての知識、入門的プロジェクトの理解、習得状況をもって検定する。	産業社会と人間	農業をはじめとする地域産業に関する課題について理解できたか。	1p	3p
				産業社会と自己理解	自己の特性や適性の理解、進路について必要なライフプランが設定できたか。	1p	
				入門的プロジェクトの理解と実践	PDCAサイクルの構造を理解し、課題設定、計画、実践ができたか。	1p	
			専門知識	○各校での学習成果をもって検定する。	農業に関する知識・技術	1年次で習得すべき農業に関する知識・技術が学校が求める基準に達しているか。	3p
社会性・指導性	専門学科・総合学科共通	農業クラブ活動の理解と参加	○社会性、指導性はペーパーテストでは測れない力(見えない力)であることから、日々の活動や農業クラブ活動への参加状況をもって検定する。	学校農業クラブの目的	農業クラブの三大目標を理解しているか。	1p	6p
				テキスト、機関誌等の活用	FFJナビゲータ、リーダーシップを読んで活用しているか。	1p	
				単位クラブの行事参加	農業クラブの諸行事に8割以上参加し、諸行事参加記録(**)に記入しているか。	1p	
				意見発表会への参加	意見発表会の原稿を書いて参加したか。	1p	
				リーダーシップへの情報発信	リーダーシップ通信員として情報提供したか。	1p	
				環境調査	環境調査に参加し、データを報告したか。	1p	

注1) 評価項目・実施については、検定基準に基づき単位クラブが定める。

注2) 8p以上を初級合格とする。

注3) 農業クラブ活動の各種競技出場における成果は、アグリマイスター顕彰制度において活用することができる。

*) FFJナビゲータ p14~15参照

**) FFJファイルの様式参照

12p

FFJ検定ガイドライン〔中級〕

平成27年3月

検 定 基 準		評 価 項 目 例	実 施 例	配 点	小 計		
科学 性	専門 学 科 ・ 総 合 学 科 共 通	プロジェクトの 取 組 み	○科学性はプロジェクトへの熱心な取 組 み を も っ て 検 定 す る。	諸問題の発見、プロジェクトの取 組 み	テーマを自ら設定し、プロジェクトを主体的に行っているか。	2p	4p
			○アグリマイスター顕彰制度の区分C を も っ て 読 み 替 え る こ と も で き る。	プロジェクトのまとめ、レポートの提出	結果を記録簿にまとめ、レポートを提出したか。	2p	
				アグリマイスター区分Cの項目	アグリマイスター区分Cの項目（読み替え） （ただし、4点以上のものとする。入学年度からのものを積算してよい）	(4p)	
	専門知識	○各校での学習成果をもって検定する。	検定実施(2年2～3学期)までに学ぶべき 専門学習	検定実施(2年2～3学期)までに習得すべき農業科目の知識・技術が学校が求める基準に達しているか。	4p	4p	
社会 性 ・ 指 導 性	専門 学 科 ・ 総 合 学 科 共 通	農業クラブ活動の 理 解 と 参 加	○社会性、指導性はペーパーテスト で は 測 れ な い 力 (見 え な い 力) で あ る こ と か ら 、 農 業 ク ラ ブ 活 動 の 理 解 と 参 加 状 況 を も っ て 検 定 す る。	学校農業クラブの目的	農業クラブの三大目標を説明できるか。	1p	8p
				農業クラブ役員として活動 農 業 ク ラ ブ 活 動 へ の 積 極 性 (当 該 年 度 の も の を 対 象 と す る)	農業クラブ(単位クラブ)の役員となった。	2p	
					農業クラブの諸行事や地域分会活動(*)に2回以上参加したか。	1p	
					地域との交流活動やボランティア活動に2回以上参加したか。	1p	
					意見発表会の原稿を書いて参加したか。	1p	
					リーダーシップ通信員として情報提供したか。	1p	
					環境調査に参加し、データを報告したか。	1p	

注1) 評価項目・実施については、検定基準に基づき単位クラブが定める。

注2) 11p以上を中級合格とする。

注3) 農業クラブ活動の各種競技出場における成果は、アグリマイスター顕彰制度に活用することができる。

*) 地域分会活動の例 : 地域の農業経営や栽培方法の改善研究、地域の環境の調査や地域の環境の創造、地域の特産品を使った新製品の開発、地域の農業に役立つ新品種の開発、里山保全や谷津田再生の取り組みなど。FFJナビゲータ p24参照

16p

FFJ検定ガイドライン〔上級〕

平成27年3月

検 定 基 準			評 価 項 目 例	実 施 例	配 点	小 計	
科学性	専門学科・総合学科共通	プロジェクトの成果	○科学性はプロジェクトの成果をもって検定する。	地域と連携したプロジェクト学習の取り組み、まとめと発表	地域と連携したプロジェクトの成果を都道府県連大会で代表として発表したか。(校内発表会は部分点)	7p (5p)	7p
			○アグリマイスター顕彰制度の区分Cをもって読み替えることもできる。	アグリマイスター区分Cの項目	アグリマイスター区分Cの項目 (読み替え) (合計で4点以上のもの、ただしカウントは7点までとする。入学年度からのものを積算してよい)	(4p) ~ (7p)	
	専門知識	○各校での学習成果をもって検定する。	検定実施(3年1学期)までに学ぶべき専門学習	検定実施(3年1学期)までに習得すべき農業科目の知識・技術が学校が求める基準に達しているか。	7p	7p	
社会性・指導性	専門学科・総合学科共通	リーダーシップの発揮 農業クラブ活動の運営	○社会性、指導性はペーパーテストでは測れない力(見えない力)であることから、農業クラブ活動へのリーダーとしての参加状況、各種会議の運営をもって検定する。	単位クラブでの模範となるべき働き	単位クラブの会長となり活動しているか。 (単位クラブの役員となり活動。部分点) (校内プロジェクトや農業専門部等の長として活動。部分点)	4p (2p) (2p)	14p
				都道府県連盟以上の会議・研修会への参加	都道府県連盟役員として活動しているか。	2p	
				単位クラブの代表として発表会、競技会の運営実績	都道府県連盟の発表会・各種競技会の運営に取り組んだか。	4p	
				地域や学校の環境調査への参加とまとめ	地域の環境調査の責任者として運営し、まとめたか。 (環境調査の責任者としてまとめた。部分点)	4p (2p)	
					(環境調査に参加し、データを報告した。部分点)	(1p)	

注1) 評価項目・実施については、検定基準に基づき都道府県連連盟が定める。

注2) 18p以上を上級合格とする。

注3) 農業クラブ活動の各種競技出場における成果は、アグリマイスター顕彰制度に活用することができる。

28p

FFJ検定ガイドライン〔特級〕

平成27年3月

検 定 基 準			評 価 項 目 例	備 考	配 点	小 計	
科学性	専門学科・総合学科共通	プロジェクトの成果	○プロジェクトの成果が上級取得者の中で特に優れているもののプロジェクト報告書(A4, 片面10枚)により検定する。	①検定願書 ②要旨集 ③プロジェクト報告書(A4, 片面10枚) ④受験手数料 ⑤推薦書(都道具県連代表の印) ⑥受検者一覧	○都道府県連盟の代表者は、上級取得者の中から、一層の成長が期待できるものを推薦する。 ○申請書類により日連が審査する。	40p	40p
		専門知識	◆アグリマイスター顕彰制度の区分Cをもって替えることはできない。				
社会性・指導性	専門学科・総合学科共通	農業クラブ活動	○社会性、指導性はペーパーテストでは測れない力(見えない力)であることから、上級取得者の中で、顕著な活動実績により検定する。 ○FFJファイル推薦書における初・中・上級検定取得年月日、農業クラブへの貢献、上級取得後の活動状況、農業クラブの各種発表、特記事項(国際交流活動等)を審査する。				

注1) 評価項目・実施については、検定基準に基づき日連が定める。

注2) 日連の審査(検定委員会)において30p以上を特級合格とする。

注3) アグリマイスター顕彰制度において特級合格を申請する場合は、プロジェクト発表の得点と併せて申請することはできない。(ダブル申請の防止)

40p